



脳神経内科診療部長
高田 和城

専門分野／脳神経内科一般、神経免疫

- 医学博士
- 総合内科専門医・指導医
- 脳神経内科専門医・指導医
- 神経免疫診療認定医

脳神経内科部長
(脳卒中・神経救急担当)
村瀬 翔

専門分野／脳血管障害を含めた
神経救急、神経疾患全般

- 医学博士
- 日本神経学会専門医・指導医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本脳卒中学会専門医・指導医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本医師会認定産業医

神経内科部長(脳血管内科担当)
寺川 晴彦

専門分野／リハビリテーション医学、
神経疾患全般

- 医学博士
- 日本リハビリテーション医学会認定
臨床医・専門医・指導医・代議員
- 日本神経学会専門医・指導医
- 日本内科学会総合内科専門医・指導医
- 日本脳卒中学会専門医・指導医
- がんのリハビリテーション研修修了

医長
山下 和哉

- 医学博士
- 日本神経学会専門医・指導医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本脳卒中学会専門医

医師
服部 寿紀

Message



脳卒中は治療開始までの時間と治療法の選択が患者さんの予後に大きく影響します。当院では24時間365日、脳神経内科医もしくは外科医が常駐しており、治療効果の高い、血栓回収療法やt-PA療法などの救急対応が行えます。脳神経内科疾患に関しても、外来および救急担当医で脳・脊髄・末梢神経・筋疾患のほぼすべての疾患に対応が可能です。脳神経内科疾患が疑われる症例があれば、お気軽にお問い合わせください。



脳神経内科の
詳細はこちら



ACCESS

電車でお越しの方

JR東西線	新福島駅下車 3番出口より徒歩5分
京阪電車	中之島駅下車 1番出口より徒歩5分
JR環状線	福島駅下車 徒歩10分、野田駅 徒歩10分
阪神電車	福島駅下車 徒歩10分、野田駅 徒歩15分
大阪メトロ	千日前線 玉川駅下車 徒歩10分



市バスでお越しの方

鶴町四丁目[55]方面 「堂島大橋北詰」下車 すぐ
西島車庫前[56]方面 「福島西通」下車 徒歩5分
「大阪福島税務署」下車 徒歩5分
船津橋[53]方面 「堂島大橋」下車 徒歩5分
大阪メトロオンデマンドバス 福島エリア
「JCHO大阪病院」下車

車でお越しの方

タクシー 大阪駅より約10分
駐車場があります(割引制度あり)



ホームページ



Google Map

地域医療連携室 (平日8:30~19:30、土曜日9:00~13:00)

●TEL 06-6441-5463 (直) FAX 06-6441-0512 (直)

ホットライン (24時間365日)

●脳卒中 080-3728-9281 循環器 090-6374-4374



独立行政法人 地域医療機能推進機構
大阪病院
Osaka Hospital

地域医療支援病院 大阪府がん診療拠点病院 救急指定病院 災害医療協力病院 臨床研修指定病院

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78
FAX:06-6445-8900
URL: https://osaka.jcho.go.jp
TEL: 06-6441-5451 (代表)

独立行政法人
地域医療機能推進機構(JCHO)

OSAKA HOSPITAL

診療科案内

脳神経内科

脳神経外科



大阪病院
Osaka Hospital



超急性期から慢性期までの脳神経疾患に適切な診断、治療、リハビリを。

脳卒中、神経免疫疾患、変性疾患、リハビリテーションの専門医が在籍しており、超急性期から慢性期までの幅広い脳神経疾患に対応。脳卒中に対しては、大阪市内でもいち早く脳卒中ケアユニット（SCU）を開設。脳神経外科と協力して24時間365日の救急対応を行っています。

01 脳卒中に対する専門的かつ包括的な診療体制

血栓溶解療法（t-PA）や血管内治療などの超急性期治療を脳神経外科と連携して行っています。また、急性期から回復期、慢性期まで、地域の医療機関と密に連携を図りながら一貫したケアを提供しています。



02 神経難病・神経救急疾患への幅広い対応

パーキンソン病、ALS、多発性硬化症などの神経難病に対する診断・薬物治療、髄膜炎、てんかん、ギランバレー症候群などの神経救急疾患にも対応しています。



03 内科的視点を活かした総合的な診療

脳卒中は高血圧症や糖尿病など内科疾患や、心疾患など循環器疾患が主な原因です。スタッフは、内科・循環器疾患にも対応可能な内科認定医・内科専門医資格を保有し、高血圧や糖尿病などの基礎疾患を含めた脳卒中中の再発予防にも注力しています。



脳卒中中の急性期治療および再発予防

神経難病・自己免疫性疾患

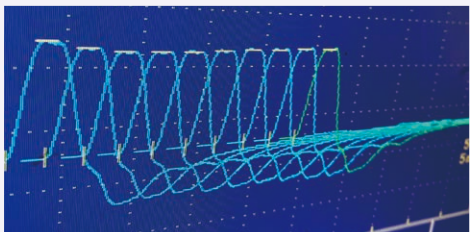
パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症などに対する診断・治療

神経救急疾患・炎症性疾患

髄膜炎・脳炎、てんかん、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）、HTLV-1関連脊髄症（HAM）等

様々な症状に対する診断・治療

頭痛、顔面痙攣、手足の脱力・しびれ、歩行困難、言語障害、視力障害、記憶障害等の診断・鑑別を行うとともに、鑑別結果に応じた適切な診療が行えるよう院内の様々な診療科と連携を図っています。



主な治療・処置	症例数（約）		症例数（約）
脳卒中診療（脳神経外科と併せて）	356	神経免疫疾患	23
血管内治療（脳神経外科と併せて）	64	てんかん	30
脳血管障害	183	中枢神経感染症	18
神経変性疾患	29		

（2025年度）



幅広い脳神経疾患に対応し、より安全で低侵襲な治療を提供。

脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、頸動脈狭窄などの血管障害に対しては、血管内治療（コイル塞栓術、ステント留置術）を積極に行っています。脳腫瘍に対しては、ナビゲーションシステムや神経内視鏡を用い、精度の高い、低侵襲な治療を心がけています。

01 脳卒中担当医が常時待機

脳卒中担当医が24時間365日、脳卒中ホットコールに対応。迅速な対応かつ断らない対応を心がけています。



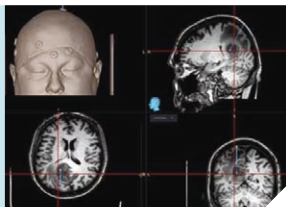
02 緊急の脳血管内治療・手術に対応可能

急性期脳卒中に対して、緊急脳血管内治療、緊急開頭手術が可能。常勤医として、日本脳血管内治療専門医3名、日本脳神経外科学会専門医・指導医3名が在籍しています。



03 医療技術の進歩を積極的に導入

画像転送システムを用いた情報共有、画像解析技術による治療法の選択、マルチモダリティを活用した手術戦略の向上など、新たな技術を活用し、治療精度の向上に努めています。



脳血管障害、脳腫瘍、水頭症、急性期脳卒中、頭部外傷、けいれんなど

開頭術だけでなく、低侵襲治療である脳血管内治療（カテーテルによる治療）もおこなっています。

脳卒中

当院は脳卒中センター（PSCコア）の認定を受けており、脳神経内科医とともに、24時間365日、SCU9床の運営およびSCU（脳卒中）当直を行っています。

未破裂脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻などの脳血管障害や、もやもや病、頸部頸動脈狭窄などの閉塞性脳血管障害

内服加療、外科的手術（クリッピング、摘出術、CEA、バイパスなど）および、脳血管内治療（コイル塞栓、CASなど）を行っています。

脳腫瘍

良性・悪性、原発・転移を問わず、手術、化学療法、放射線治療などの集学的治療を行っています。病理学的な組織診断だけでなく、遺伝子解析、分子診断も実施しています。



主な治療・処置	症例数		症例数
脳腫瘍手術	15	血管内手術	47
脳血管障害手術	16	その他	17
頭部外傷手術	43		
水頭症手術	5		

（2025年度）



脳神経外科診療部長

榎 孝之

専門分野／脳腫瘍、下垂体腫瘍、脳動脈瘤、脳血管障害（脳卒中）、脳神経外科全般

- 医学博士
- 日本脳神経外科学会専門医・指導医
- 日本脳卒中学会専門医・指導医
- 日本脳卒中の外科学会技術指導医
- 臨床研修指導医
- 難病指定医

脳神経外科部長(脳血管内手術担当)

山際 啓典

専門分野／脳血管障害、脳血管内治療、脳神経外科一般

- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本脳血管内治療学会専門医

医長

呉村 有紀

専門分野／脳神経外科一般、脳血管内治療

- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本脳血管治療学会専門医

医師

橋本 拓志

Message



脳神経疾患（特に脳卒中）は、地域の医療機関が一体となって連携することで治療の質が格段に上がっていきます。当院では、SCUホットラインを開設しており、担当医が24時間365日対応しています。また、脳腫瘍、脳動脈瘤、脳血管障害、頭部外傷などの幅広い疾患に対応しており、従来の開頭術だけでなく、脳血管内治療、経鼻手術、放射線治療などの低侵襲な治療を提供しています。今後も、地域の先生方と協力してより良い診療を目指していきます。



脳神経外科の詳細はこちら

